

島根県出雲警察署と連携して出雲市で交通安全啓発活動

～飲酒運転の根絶と反射材を用いた交通事故防止を呼び掛け～

日本損害保険協会中国・四国支部 島根損保会（会長：古池 祥蔵・三井住友海上火災保険株式会社 山陰支店長）は、昨年、島根県出雲市で交差点での交通事故が多発しているため、12月16日（火）10時から、同市のショッピングモール「ラピタ本店」で、島根県出雲警察署と連携した交通安全啓発活動を実施しました。

啓発活動に際し古池会長から参加者に対し、「日が暮れるのが早くなり、慌ただしい年末を迎えるにあたって、交通事故が多発することが懸念されています。少しでも交通事故が減るよう、県民のみなさまに飲酒運転の根絶、安全運転や反射材を用いた交通事故防止を呼び掛けましょう」と挨拶がありました。

その後、出雲警察署職員や損保関係者等6人が、当協会本部が提供した「反射材付き啓発チラシ」に加えて、出雲警察署と当支部が連携して製作した「交通安全啓発チラシ」など150部を来店客に手渡して、交通事故の防止を呼び掛けました。

当支部では、引き続き、各県の警察署をはじめとした関係先との連携を強化して、交通事故防止に関する活動に取組んでいきます。



古池会長挨拶の様子



啓発活動の様子



チラシ内容説明の様子



配布したチラシ（左から3枚）とステッカー（右）